

ちいきないせいそう  
地域内清掃のコースが一部変更となりま  
す。

がつ か  
6月10日から、地域内清掃のコースが、  
ちいき  
かわります。地域からの要望を受けて、掃除  
ばしよ ひろ  
する場所が広がりました。杏林病院前の通  
わた  
りを渡って、旧今宮小学校の周辺を清掃  
します。

とくそう はじ やく ねんまえ  
特掃が始まった約20年前とくらべると、  
かまがさき りよう すこ  
釜ヶ崎のゴミの量は少しずつ減少してき  
ました。きれいな街になってきたとも言えま  
すが、はんめん こうれい かか  
す、反面、高齢者が抱えている、仕事があ  
なく生活が苦しい・野宿せざるをえない問題  
けいぞく  
は継続していて、ちいきないせいそう  
にんずう

じゅうようせい  
つづけていく重要性はかわって  
ません。

いみ  
そうした意味で、地域の必要性に  
こた  
応え、高齢者でもできる仕事であれ  
ば、せつきよくてき ひ う  
積極的に引き受けて、特掃の  
いぎ ひろ しゃかい  
意義を広く社会にアピールしていくことが大切  
たいせつ

せいそうちいき かくだい とも ほか  
清掃地域の拡大に伴い、他のコースのまわり方も変更  
になりますので、ちゅうい  
ご注意ください。

はじ こころ な  
初めての試みで、慣れないため、いろいろなことが起  
こるかもしれませんが、ちいきない あ  
地域内に当たった方は、その  
つど たず  
都度スタッフに訊ねてください。

きょうりよく  
協力しあって新しい場所での仕事を成功させまし  
よう。



5月1日大阪府と大阪市に、反失業連絡会が申入れた内容を紹介します。

ミーデーの日、反失連の呼びかけに応じて集まった釜ヶ崎の労働者が大阪府と大阪市に申入れを行いました。

申入れ内容の中心は、特別清掃の拡充です。

釜ヶ崎対策を現状のまままで維持しておけば、いずれ高齢化によつて、街は落ち着いていくだろうと行政が考えているとしたら、その間の野宿やシェルターでしのいでいる人たちの苦しさは、かわりません。高齢化のために、野宿のまま亡くなってしまう可能性が以前より高まってしまっています。働けるうちは仕事の稼ぎで畳の上で暮らせるよう就労対策を充実する必要があるとあります。

『からだ動くうちは働いて生活したい』『社会の役に立ちたい』『働くことが生きがい』と願う高齢の日雇労働者の思いを活かし、地域を活性化させる就労対策に今こそ集中して乗

り出すべき」と訴えました。

府と市では行政区分上、若干申入れ内容が異なりますが、以下にまとめて掲載します。

(1) 特別清掃を拡充されたい。

(2) 55歳以下の若年の日雇労働者に対する生活支援・訓練

制度の充実を図られたい。

(3) 新シェルターにおいて、居場所機能の充実と多様な支援・

自立の機会の提供とが可能となるよう実施されたい。

(4) ホームレス自立支援法が2017

年度以後も延長されるよう国に強

く働きかけられたい。

(5) 行政区分の変更の有無にかかわらず、

釜ヶ崎対策及びホームレス対策が

後退することがないようにされたい。

